

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2025-004
投書日	2025/5/7
タイトル	学生相談室のカウンセリングにおける言葉遣いについて
投書内容	日頃より、学生相談室ではメンタルヘルスや学業の相談をしており、これまでのご対応に深く感謝申し上げます。 今回、カウンセリングでのやり取りで気になった点をお伝えします。 ある日、十分な時間がある中で、「時間が来たので終了です、今日はお腹いっぱい聞きました」と言われました。この言葉からは、「これ以上私の話を聞きたくないのかな」と感じ、残念に思いました。 また、講義に関する相談の際、「次年度の講義をいつもみたいに簡単に切り捨てるんじゃないか」と言われ、違和感をおぼえました。私は講義を軽々しく放棄するタイプではないので、この表現に否定的なニュアンスを感じ、普段の自分とは異なる印象を持たれていることに驚きました。こうした言葉は、安心して話したい気持ちを損なうことがあると考えます。 引き続き相談室を利用する中で、こうした経験から、話す側が安心できる言葉の選び方を意識していただければありがたいです。 これまでのご対応に、改めて感謝申し上げます。
回答日	2025/5/27
回答	学生相談室のご利用、および率直なご意見をいただき、ありがとうございます。 また、カウンセリングでの言葉遣いについて、不快な思いをさせてしまったこと、深くお詫び申し上げます。学生相談室は、学生の皆様が安心して本音で話せる場所であるべきであり、今回の言葉がその信頼を損なう可能性があったとのご指摘は、真摯に受け止めるべきと考えております。 頂戴いたしましたご意見は、担当カウンセラーおよび学生相談室のスタッフ全体で共有し、今後のカウンセリングにおける言葉選びや、より一層学生の皆様に寄り添った対応ができるよう、改善に努めてまいります。 今後とも、学生の皆様のサポートに真摯に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。